驚異の波動健康法　1989年　中央アート出版

ジュリエット・ブルック・バラード
ランドルフ・メーコン女子大卒。ウィリアム&メリー大学大学院卒。
エドガー・ケイシー・リーディングを研究。
1966年から1970年までエドガー・ケイシー財団広報教育機関AREが発行する専門誌「AREジャーナル」の共同編集者。
1971年から1973年にかけて雑誌「トレジャー、トローブ」の編集長。

本書は、1955年以来、エドガー・ケイシー資料の研究に携わり、執筆、講演活動を続けてきた著者が、人間の心・身・霊に幅広い治療作用を招く地球の波動世界の種々相に探究のメスを入れたものである。

第一章では、生命の源と言われている水が人間にどのような作用を与えるのかが、特に健康面に絞って探られています。水治療法、水浄化法、飲水健康法、歯への作用などが述べられています。

第二章では、電気・色・音の三大波動の源である太陽エネルギーについての概説がなされています。ここでケイシーは、太陽の表面が実は冷たいのだという、驚くべき見解をみせています。

第三章では、太陽エネルギーの第一の結果、電気のもたらす治療力の数々がケイシー・リーディングからまとめられています。彼によると「低い波動形態の電気」が生命エネルギーに近いとのことで、そうした波動を出す湿電池(ウェットセル)、インピーダンス・ディバイス、各種光線療法が紹介されています。

第四章では、太陽エネルギーの第二の所産、色についてのリーディングが網羅され、色彩療法、オーラの秘密、オーラを見る装置、色の栄養学など、今後の治療分野で体系化されるべき知識がまとめられています。

第五章では、太陽エネルギーの第三の所産"音(サウンド)"に秘められたパワーがテーマで、天体の音楽、音楽療法、言霊の作用、姓名学、数霊学にまで研究の手は広げられています。読者は聴く音楽だけでなく、自分が言葉として発する音楽が、どんなに大きな影響を人生に及ぼしているかが分かることでしょう。

第六章では、周期がテーマになっています。人体は7年間で完全に細胞を総入れ替えし、人間は7年ごとに精神面で大きな変化を遂げるというリーディングを、これまでの人生にあてはめると、面白い発見が沢山出てきます。周期を利用した健康法、各臓器の再生周期、魂の転生周期、太陽系卒業の周期など、興味深いテーマが網羅されています。

水治療法

体内で適切な排泄が不足してくると、水治療法が必要になってきます。リーディングは、繰り返し、正しい同化と排泄がなされていれば、体は自分を蘇生させ続けることができると力説しています。この二つのプロセスを正常近くにまで持ってゆけば、人間は望むだけの長さを生きられるとしています。

リーディングの中で勧められている水治療法には、洗腸(これはかなり頻繁に勧められました)、スチームバス、針状灌水浴、またはシャワー、全身マッサージと水治入浴など、いろいろな形のものがあります。リーディングを調査すると、腸をきれいに保っておくことが極めて大切であることが分かってきます。そこに宿便がたまるためです。腸内の血行が滞ると、自律神経中枢や、脳脊髄神経系を圧迫するような、有毒な症状が出てきます。偏頭痛や滑液嚢炎はそこから生じてくる沢山の病気の一つです。

太陽エネルギー

太陽系の太陽は、心臓が人体に対するのと同じ方法で、太陽系に関係を作り出している。心臓が人体の力の中心であるように、太陽は太陽系の力の中枢である。血が心臓から流れ出てくるように、力は太陽から出てくる。太陽の力は、血が動脈を通過してゆくように、各惑星の持つ逆の極に引き寄せられる。(太陽の活動が大まかに言ってプラスとすれば、地球を含め各惑星は、大まかにマイナスと言えよう)そこで、体内には、血を吸引するマイナスの力があることになることは間違いない。太陽の力は、各惑星に引き寄せられてゆくにつれて、振動数の低下する順に、磁気、電気、光、色、熱、音、最後に物質を作ってゆく。そこで物質は、よく誤解されているようにエネルギーの母ではなく、所産である。

放射力(太陽のような天体から放たれるそれ)は、プラスの力ともマイナスの力とも言える。受動的になり、作用される側になる時に、それはマイナスの力となる。これは重力において起こっていることである。重力の力は、地球のプラスの光線によって地球に引き寄せられる。その他の太陽の力は、プラスの作用をしたりマイナスの作用をしたりしながら、熱を放つ。地球に届く太陽の放射線の屈折度が、この熱の強さを決定する。そこで、四季は太陽周囲の軌道上で地球がどこに位置するかで決まってくる。とはいえ、地球にも太陽にもプラス･マイナスの力がある。太陽は受けとりもし与えもする。人間の起こす争いや戦い、憎しみは太陽に放たれ、そこで受けとられて今度は「爆発現象」となって地球に返ってくる。

太陽と、地球を含めた各惑星との関係が、双方からのプラス･マイナスの力が複合されたものであることは明らかであり、それが作用し合ってバランスを生み出している。物を一つの所に保つ重力のような完全な負の力を質量が帯びる時のみ、相対的位置関係が変わり、質量がそのバランスをとっている惑星から投げ出される。同じように、月は地球から、その他いろいろな衛星もその惑星から投げ出され、その他の質量も同じように、それらを保っている惑星から宇宙に放出されている。

電気とその治療パワー

すでに開発されている電気治療器の使用を勧めると共に、リーディングは少なくとも二種類の装置の製作を独自に提案しました。湿電池、インピーダンス装置(放射能装置とも昔は呼ばれた)がそれです。この二つの装置は極く基本的な電気回路で構成されており、ちょっと見ただけでは大した作用を人体に与えないと思えるかもしれません。ところが、リーディングによれば、この二種の装置は現代科学の範囲を超えた電気的性質を持つ治療波動を発生するのです。

湿電池は本体内部に、計測できる直流ポテンシアル電流を0~1.5ボルトまで発生させます。本体から引かれている二本のコードの先には電極がついており、これらを人体に接続すると微弱な電流が発生しますが、その量は人体の抵抗値によって変わってきます。回路の中にはソルーション·ジャー(溶液瓶)が接続され、中に入っているいろいろな元素の溶液が、こうした元素本来の振動数に従った極く小さな変調を起こし、人体に伝えるものと考えられています。とはいえ、この微弱な変調作用は計測されていませんし、その存在が立証された訳ではありません。塩化金、硝酸銀、硫酸銅、鉄チンキといった様々な溶液が回路の中で使われています。神経の障害、中風、パーキンソン氏病、多発性硬化症を含む609件のリーディングで、この装置の使用が勧められました。

インピーダンス·ディバイスは人体の各部を通して電気回路を作り上げる装置です。人体そのものは微弱な電圧を作り出しています。このような電圧の存在することは立証されており、その特性は心電図で実際に分析されています。この装置の二つの電極は人体の指定の箇所(ほとんどは手首と足首)に接続されます。回路には湿電池と同じく、特殊な元素溶液の入った瓶が取りつけられます。本体は何種類かの金属材料と有機物によって構成され、氷水に3/4までを浸して"充電"させた後で使用します。この"充電"原理は科学でも説明できてませんが、NASAのJ·サットン博士によれば、この装置は未知のエネルギーの極く一部を吸収、反射させて回路に流すのであろうとのことです。回路を流れる電流はソルーション·ジャー(溶液瓶)内の元素の振動数によって変調され人体に伝えられると考えられてますが、やはりこれは計測できておりません。

色とオーラの治療力

色は太陽から流れてくる力のもう一つの現われです。色は電気の後に現われるため、大した効果は秘められてないだろうと思いがちですが、色にはほとんどの人の予想をはるかに超えた力が秘められているのです。色にどんな効果があるのかを研究し、人間一人一人がどんな色に調和を感じるかを確かめてみれば、自分でもカラー·セラピー(色彩療法)を編み出すことができるでしょう。

リーディングからは、沈んだ感じの、どんよりした黒っぽい赤は、本人の不愉快な思いを表わしており、危険になることが明らかです。また、オレンジ色は菫色が入っていてもいなくても、センチメンタルな気持ちを表わします。この色はいつも望ましいとは限りませんが、相手を信頼してよいことを物語ります。また、明るい赤と、

白っぽい緑色のオーラ波動の人は信頼できるばかりか、霊的啓発や知的理解、助けを与えてくれるので、親密になった方がいいということになります。

サウンドヒーリング

サウンドは、太陽からくる中心的波動パワーの第三番目のものです。これは色よりも幾分その波動力の度合いは落ちますが、人間に強力な影響力を及ぼしますので、その働きをよく知って生活に十分活用するのはとても大切なことです。

私たちの周囲をどれほどのサウンドが取り巻いているかは「天体の音楽」というものを考えれば理解できます。この大自然の波動が奏で合う壮厳なリズムは、聴こうとしてもなかなか聴けるものではありませんが、霊的感性が高度に発達した時は聴くことができます。私たちの誰もが、そのような感性を磨けば聴けることになるでしょう。リーディングは、私たちの誰もが自然界ともっと深く接し、そこに息づく生命波動と一体になるように勧めていますから、天体の音楽が私たちに大切な影響力を与えてくれていることは明らかです。

音楽は、どのようにして人間に影響を与えるのでしょうか。大脳は神経系統に作用し、そこから波動を放ちます。(その波動は一人一人少しずつ違うということを、私たちはみてきました。)このような波動はリズミックな性質を持っていますが、これが体内の霊的力を発動させます。短波を使った電気療法と同じようなやり方で波動を起こす音楽には、創造的な働きがあり、私たちの誰に対しても適切な電気的力を作り上げる助けとなってくれるのです。

脳に損傷を起こしていて、自分ではこのようなプロセスを通れない人は、適切な特徴を持った音楽をかけて自分に足りない波動をもらい、それによって電気的な力に引き金をかければ助けられます。また、電気を直接当てることによっても、同じような効果が得られるでしょう。

周期

これまでみてきたありとあらゆる力の影響を、人間が、四六時中受け続けていたとすれば、大変なことになります。そんな状態を防ぎ、一人一人にそのような力の益のみを与えるために、周期という体系が存在します。「サイクル」という言葉は、ギリシャ語の「輪」あるいは「円」から派生しています。周期は特定の長さの時間から成り、その中で一連の出来事が同じようにして繰り返されます。

肉体に作用する周期の効果はとても興味深いものがあります。体は、絶えずそれ自身を補充し続けます。いろいろな変化の通り道となる部分は、他より早く再生します。消化器系統、肺、肝臓、心臓、膵臓、脾臓は7年の周期の内に7回変化します。